

おいしいだ

# ＊議会だより

No. 144

2015/ 4 .25

山形県大石田町ホームページ  
http://www.town.oishida.yamagata.jp



新入生読み上げに緊張(北小入学式)

第1回定例会

3/3~13

第1回臨時会

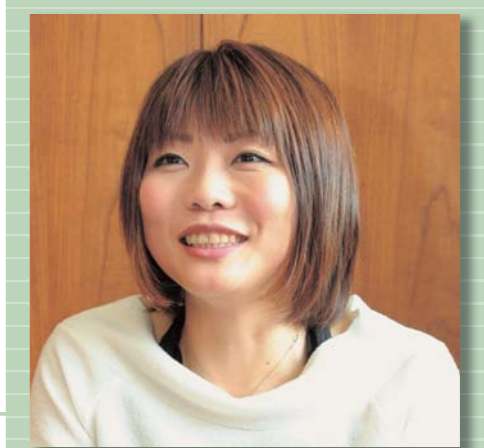
1/28

町民交流センター 着工 .....	2
新年度予算 10億円の大増 .....	4
開業以来の料金改定に激論 .....	13
町の考えを問う 6議員が一般質問 .....	15
追跡 あれはどうなった! .....	22
シリーズ 笑顔のIターン .....	24

シリーズ

## えがお 笑顔のIターン

来迎寺地区  
鮎川 ゆき さん



福島県で米粉のパン屋を家族で経営していたが、震災に遭い避難のため山形県へ。昨年8月、新庄市から大石田町の来迎寺地区に移り住む。今年5月には自宅を改装して米粉のパン屋を開店予定。笑顔が素敵な小学生2人のお母さんです。

**大石田町へ来たきっかけは**  
父が定年後農業をやりにたくて福島県飯館村に土地を購入し住んでいました。震災直後、出身の秋田に向かっていたのですが、新庄市でガソリンが底をつきそのまま住んで4年がたちました。

**どうして米粉パンなのですか**  
食育に興味を持ち独学で勉強し、たどり着いたのがお米でした。まずは形を変えてでもお米を食べて欲しいと思いました。

**子育てについて**  
子供たちによく言っているのは、「同じ物

**将来は**  
これまで転々とした分、家族が帰る場所をずっと守りたいと思います。子供たちを縛り付けるのではなく、自分たちが育った大石田町で自分の子どもも育てたいと思えるような場所にしていきたいです。

ころ、いい家を紹介してもらいました。  
**住んでみてどうですか**  
はじめは馴染めないのかと思っていましたが、いろいろな人がらすごく気遣って頂いてます。子供はすぐに馴染んで楽しそうに、田舎っていいなと思いました。

**住んでみて思うことは**  
雪深い所の方が、人が温かいと思います。その通りで住みやすいところだと思います。もしあるとしたら外から来た人に雪かき指導や、負担を減らす支援などがあればありがたいですね。

事を下から見ると上から見るのでは全然違う面倒くさいと思うか楽しいと思うかで人生が変わる。雪や田舎の面倒くささを楽しめるといいですね。



■ 広報常任委員会 ■  
委員長 小林 征雄  
副委員長 村形 昌一  
委員 村岡 藤弥  
委員 遠藤 宏司  
委員 芳賀 清

今年2月以降の降雪が少なくいつもに比べ一足早い春が来た。雪国に住む私たちにとっては待望の春だ。  
山々の木々が芽吹き新緑に包まれるこの景色を眺めるのが私は一番好きだ。若々しい、躍動する季節そのものだ。  
いよいよ町民の大きな夢を乗せて、町民交流センターの建設が始まる。完成予想図に胸が躍る。これを機に町も若返ってほしい。  
春だ太陽がまぶしい。表に出よう！手足を伸ばそう！大石田自慢の水と緑が美しい。感性を磨こう。新しい自分を見せてくるから。目指すは介護のいらぬ健康で長生きだ。(記 小林)

編集後記

発行/山形県大石田町議会

発行責任者/議長 星川 久

編集/広報常任委員会・〒994-112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

◆印刷 (有)印刷文化堂